

広島大学マスタース講演会（第 18 回）

「ChatGPT など生成人工知能との付き合い方」

（令和 5 年度広島大学マスタース講演会報告）

広島大学マスタース会員 谷本 能文

最近、生成 AI が世間をにぎわせている。そこで、2023 年 07 月 23 日（土）13:30～15:00、東広島市芸術文化会館研修室において、広島大学上席特任学術研究員・特命教授の相原玲二先生に講師をお願いして、『ChatGPT 生成 AI（人工知能）との付き合い方』の講演会を実施した。出席者数は約 35 名。

AI には識別系の AI と生成系の AI の 2 種類がある。前者は、学習に基づきデータをクラス分けするのが目的で、画像・音声などを入力して識別結果を出力する。後者は、学習に基づきあらたなデータを生成するのが目的で、テキスト・画像・音声などを入力、テキスト・画像・音声などを出力する。生成 AI は以前から利用されていたが、テキストからテキストを生成するようになり、特に注目されるようになった。ChatGPT などの対話型の AI は、あたかも人間と自然に会話をしているかのような応答が可能であり、文章作成・翻訳等の素案作成など、民間企業等では多岐にわたる活用が広まりつつある。これらの AI は、あらかじめ膨大な量の情報から深層学習によって構築した大規模言語モデルに基づき、ある単語や文章の次に来る単語や文章を推測し、「統計的にそれらしい応答」を生成するものである。指示文の工夫でより確度の結果が得られるが、回答は誤りを含む可能性が常にある。生成 AI は基盤技術として大いに普及するとともに、DX（デジタルトランスフォーメーション）推進のための強力なツールとなるだろう。生成 AI は、「気を付けて、積極的に使いましょう」。



（講演会の様子）